



成長を期して子供一人一人に寄り添う

大隅教育事務所長 山元 卓也

新年度が始まってから数週間、地元の新聞には大隅地区の子供たちの素直な気持ちがつつられた投稿や心温まる一人の入学式の様子などが多く掲載されており、子供たちの生き生きとした姿とそれを支える教職員、保護者、地域の方の姿を思い描くことでした。投稿の中には、「できることをふやすぞ」「お手本になろう」「もくひょうがふえた」「チャレンジの1年に」といったタイトルがあり、新年度にあたり、子供たちは「自分の何かを変えたい」「こんなことができるようになりたい」という気持ちをもっているのだと感じることでした。これは子供だけではなく、私たち大人も、新年度という節目にあたり、職場環境や立場、役割などが変わり、心機一転、決意を新たにスタートを切っていることと思います。

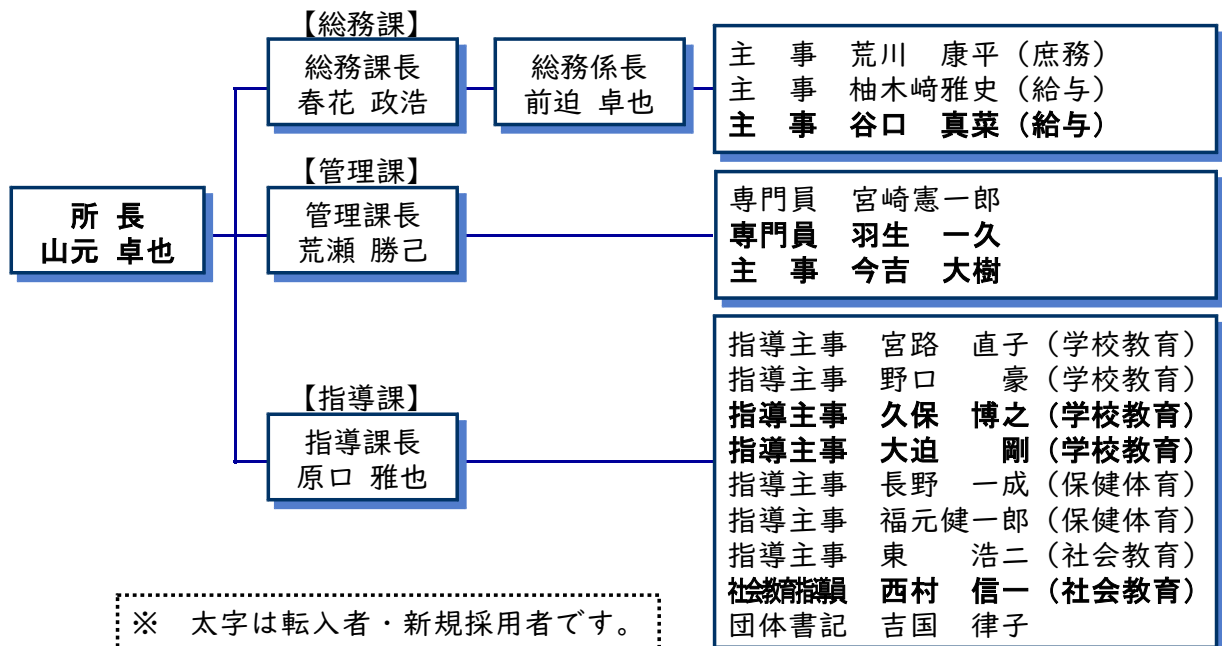
本田宗一郎氏は「竹にはフシがある。そのフシがあるからこそ、竹は雪にも負けない強さをもつのだ」という言葉を残しています。この言葉には人生におけるフシというものを逆境と捉えています。子供たちにとっての節目は、自分を成長させる一つのきっかけになると考えています。

子供は、ほんの小さなきっかけで大きく成長する存在です。教師はその子供の成長しようとする心と可能性を信じて背中を押してあげる存在だと思っています。学校にはいろいろな子供がいます。その中には勉強が苦手な子供、運動が苦手な子供、友達との関わりが苦手な子供もいるかもしれません。でも子供たちはなりたい自分の姿を求めています。その子供たちにとって、学校で唯一の救いは教師とのつながりです。教師がどれだけ自分のことを思い、分かってくれるのか、子供は敏感に察知しようとしています。教師はその気持ちをしっかりと受け止め「教育のプロフェッショナル」として子供の心に寄り添い、子供の良き理解者となり、あせらず、あきらめず子供のより良い成長のために指導をしていかなければならないと思っています。

教育事務所としましても、子供一人一人に光を当て、その光を隅々まで行き渡らせることを責務とし、その実現に向けて、各市町教育委員会、各学校と連携をしっかりと図りながら、大隅の子供たちのために努力していきますので、どうぞよろしくお願い致します。

大隅教育事務所の紹介

今年度の大隅教育事務所の職員です。全員一丸となり、教育委員会、学校等と連携して大隅地区の教育を推進していきます。よろしくお願い致します。



担当に聞く！「今年度のポイントを漢字1字で表すと」

確かな学力の定着

論

【目標】令和4年度の鹿児島学習定着度調査
小・中ともに全教科で「通過率7割以上」、「県平均以上」

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が必要です。今年度、特に、論理的思考力を育てたいという思いから「論」と表しました。

【主な取組等（授業改善のポイント）】

- 三角ロジックとペンタゴン・ロジックの活用
- 振り返り（ダイヤモンド・サイクル）と見届け
- 「大隅終末ベーシック」の考え方で授業づくり



【野口指導主事】



【大迫指導主事】

不登校の児童生徒を出さないためには、日頃から一人一人を注意深く見て、心の機微を感じ、寄り添い、積極的にコミュニケーションをとる必要があるという思いから、「看」と表しました。

【主な取組等（留意すること）】

- アンケート等の年5回以上の確実な実施
- 安心して過ごせる「心の居場所づくり」の充実
- SC・SSWの早期活用
- 情報を共有し、すばやく、チームで対応

不登校の改善

看

体力・運動能力の向上

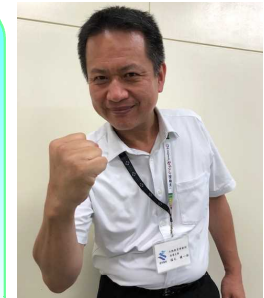
跳

令和3年度の体力・運動能力調査において、本地区の小5、中2ともに立ち幅跳びが県平均を下回っているため、この重点課題を改善したいという思いから「跳」と表しました。

県平均との差	小5	男子 -0.1cm, 女子 -0.6cm
(令和3年度)	中2	男子 -1.3cm, 女子 -1.5cm

【主な取組等（運動の位置付け）】

- 毎学習時の補強運動、2回目の記録測定
- 斜め上に跳ぶ感覚、腕を振って跳ぶ感覚等をつかむ運動（台への跳び乗り、段ボール越えジャンプ等）



【福元指導主事】



【東指導主事】

「基本的な生活習慣の確立」と「地域行事等を通して得られたもの」は、子供たちがこれから生きていく上で宝物となります。そのためには、家庭・学校・地域が、目標やビジョンを共有し、手を取り合い（携）、進めていく必要があるという思いから「携」と表しました。

【主な取組等（相互の連携）】

- 早寝早起き朝ごはん運動（家庭-学校）
- 地域行事等への参加促進（学校-地域）
- 子育て支援の体制づくり（地域-家庭）
- ※ 正しいしつけが子供への最大の贈り物です!!

地域・家庭の教育力の向上

携

「よか問」の積極的な活用を!!

「『わかった』『できた』を見届ける！参考資料」中の「よか問」には、次の4つの工夫があります。



1 分析

過去5年間の調査問題を基に、課題を把握しています。

2 厳選

通過率や出題の頻度、問題形式等に着目しながら、課題を焦点化しています。

3 類題

過去の調査問題の語句や数値等を変え、類似の問題にしています。

4 改変

過去の調査問題を編集したり、出題の意図を基に作り変えたりしています。

※「見届け」を行う際に、繰り返し活用してください。

体罰速度超過
おせいぞろい
3件
【大隅地区令和2・3年度懲戒処分件数】

「あなたが次にならないために」
懲戒処分3件により、失ったものや心の傷の大きさは計り知れません。
「改めて教職員の自覚を！自分、学校、家族を悲しませないために」

授業改善 1Pointアドバイス③

教え惜しむ

教師が全て教えてしまうと、子供たちの「自ら考える力」は育たない。一番大事なところほど「教え惜しむ」ことが大切だ。「はてな？」をもたせ、子供たちから一番大事なところを言わせたいものだ。